

住民意向調査速報版（大熊町・双葉町・浪江町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、大熊町、双葉町、浪江町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

大熊町

調査主体 復興庁、福島県、大熊町
調査対象 世帯の代表者（5,139世帯）
実施期間 令和5年10月16日～11月5日
回答者数 2,011世帯（回収率39.1%）

双葉町

調査主体 復興庁、福島県、双葉町
調査対象 世帯の代表者（3,244世帯）
実施期間 令和5年10月30日～11月19日
回答者数 1,244世帯（回収率38.3%）

浪江町

調査主体 復興庁、福島県、浪江町
調査対象 世帯の代表者（7,222世帯）
実施期間 令和5年11月20日～12月10日
回答者数 2,867世帯（回収率39.7%）

2. 調査結果のポイント

別紙1～3のとおり

本件連絡先

（原子力災害復興班）担当：星野、菊田

電話：03-6328-0250（直通）

大熊町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、大熊町の共同調査は 10 回目。

(1) 帰還の意向

すでに大熊町に戻っている	4.3% (2.5%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	12.7% (13.1%)
まだ判断がつかない	25.1% (23.3%)
戻らないと決めている	56.7% (57.7%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R3.11)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

病院、道路、公共交通などの社会基盤 (インフラ) の復旧時期の目途	69.1% (67.0%)
住宅確保への支援に関する情報	43.8% (41.8%)
どの程度の住民が戻るかの状況	40.6% (42.4%)
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	30.7% (39.9%)
働く場の確保の目途	30.3% (31.0%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	60.9% (60.7%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	42.1% (42.0%)
医療環境に不安があるから	34.4% (37.7%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	30.3% (32.9%)
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	20.9% (21.7%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

双葉町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、双葉町の共同調査は 12 回目。

(1) 帰還の意向

すでに双葉町に戻っている	1.4% (0.7%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	14.9% (13.6%)
まだ判断がつかない	24.8% (26.1%)
戻らないと決めている	55.2% (56.1%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R4.11)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療・介護福祉施設の再開や新設	47.2% (45.6%)
商業施設の再開や新設	26.5% (30.8%)
住宅の再建に関する支援	19.4%
上下水道等ライフラインの整備状況に関する情報	17.8% (18.0%)
双葉町の今後の姿	16.5% (13.3%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

※令和5年度からの新規回答項目については、令和5年度結果のみ掲載

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから	54.6% (55.2%)
すでに自宅を解体してしまっているから	42.6% (41.0%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	35.1% (33.7%)
医療環境に不安があるから	31.6% (41.0%)
生活に必要な商店などが元に戻りそうにないから	23.0% (30.5%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

浪江町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、浪江町の共同調査は 12 回目。

(1) 帰還の意向

既に浪江町で生活している	11.2% (10.7%)
戻りたいと考えている	12.7% (12.2%)
まだ判断がつかない	23.3% (25.6%)
戻らないと決めている	51.5% (50.0%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R4.11)結果

(2) まだ判断がつかない理由 (上位抜粋)

医療環境に不安があるから	62.8% (62.6%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	44.8% (41.3%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	41.2% (40.8%)
元の住家を解体しており、戻る家がないから	40.2% (38.5%)
介護・福祉サービスに不安があるから	39.1% (36.5%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	56.4% (52.2%)
元の住家を解体しており、戻る家がないから	54.2% (49.7%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	41.9% (43.0%)
医療環境に不安があるから	41.2% (39.3%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	26.8% (25.2%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答